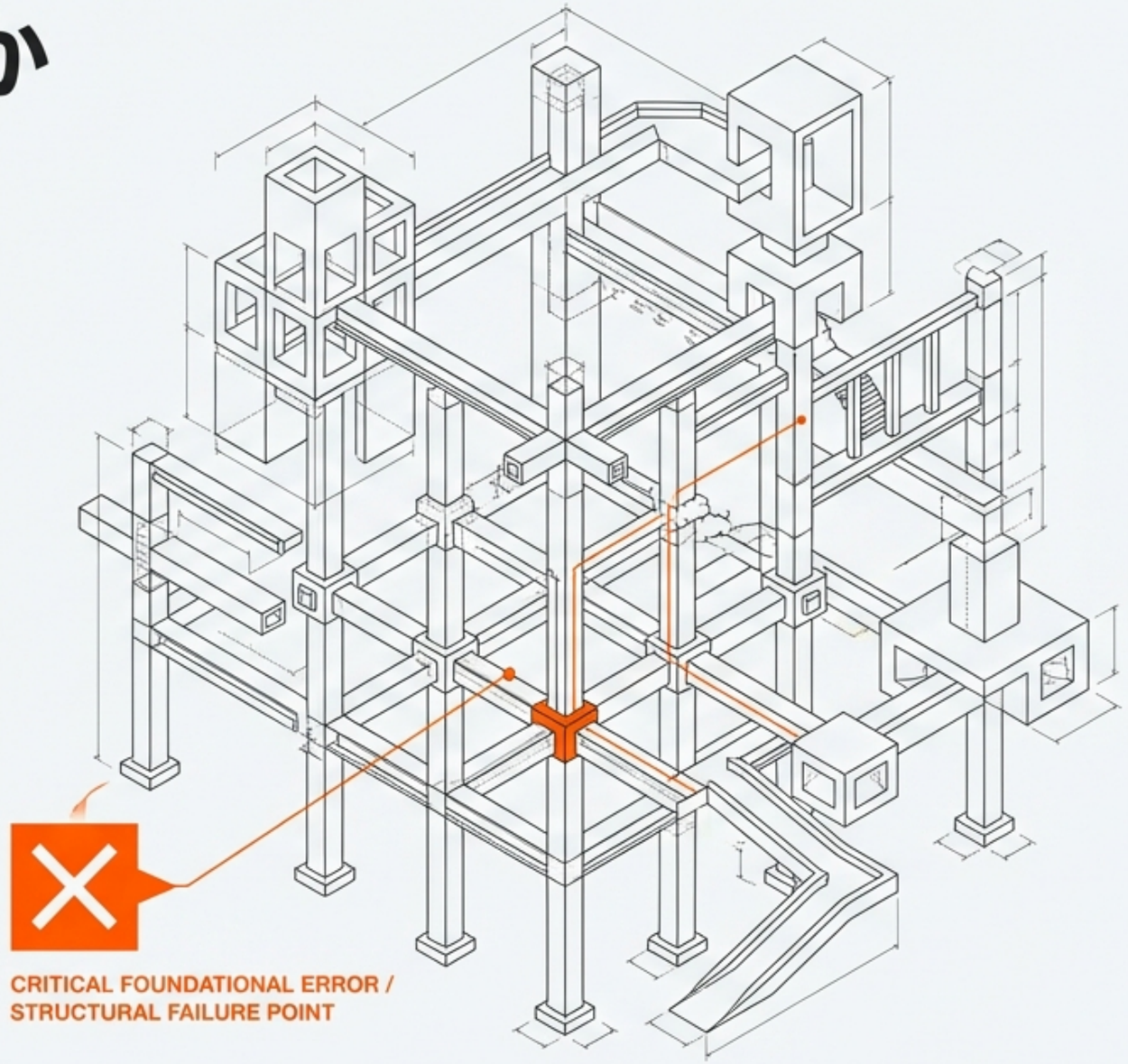
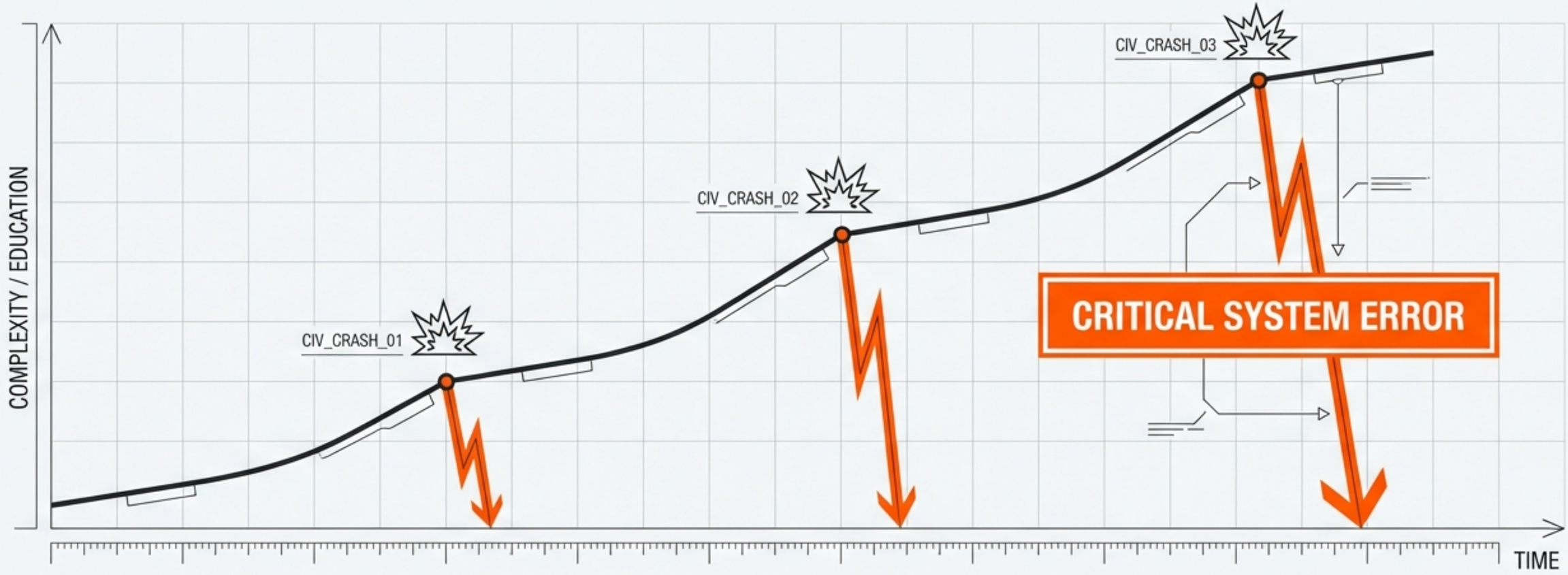
文明はなぜ必ず誤るのか

因果を内在化できない人類のための「外在構造監査」としての易経

Nakagawa Structural OS Specification v1.0
Helvetica Neue



NotebookLM



誤りは「人間の質」の問題ではない

人類は長く、「より良い教育」や「より高い倫理」によって社会が安定すると信じてきた。しかし、教育水準が上がり制度が精緻化するほど、文明はより深刻に崩壊している。これは人間の悪意や愚かさによるものではない。文明OSそのものの「設計不良（バグ）」である。

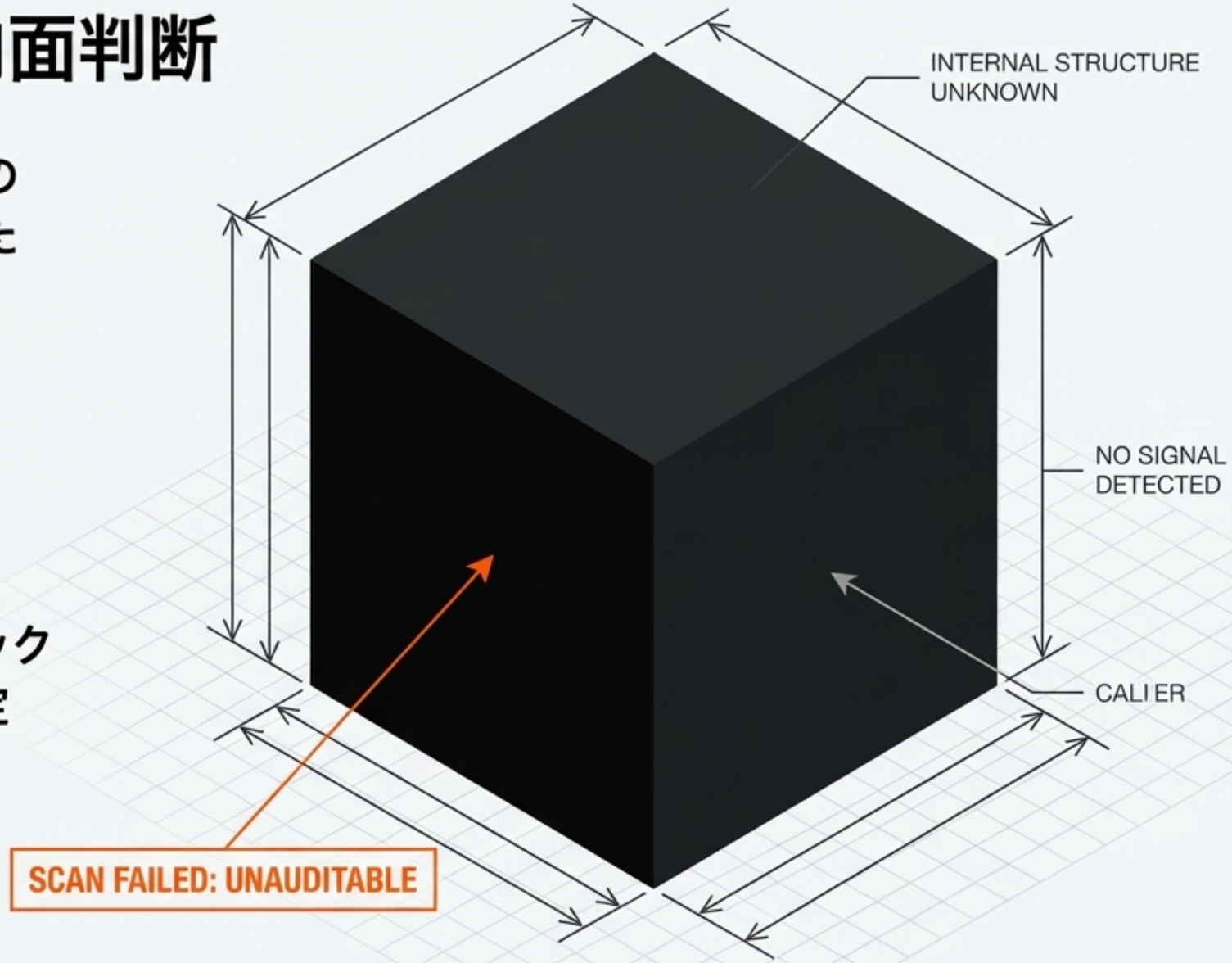
NotebookLM

最も不安定な基盤：内面判断

近代文明の致命的欠陥は、意思決定の安全装置を「人間の内面」に依存したことにある。

・観測できない
・校正できない
・再現できない

「良心」や「理性」という名のブラックボックスに、文明スケールの意思決定を委ねる設計自体が破綻している。

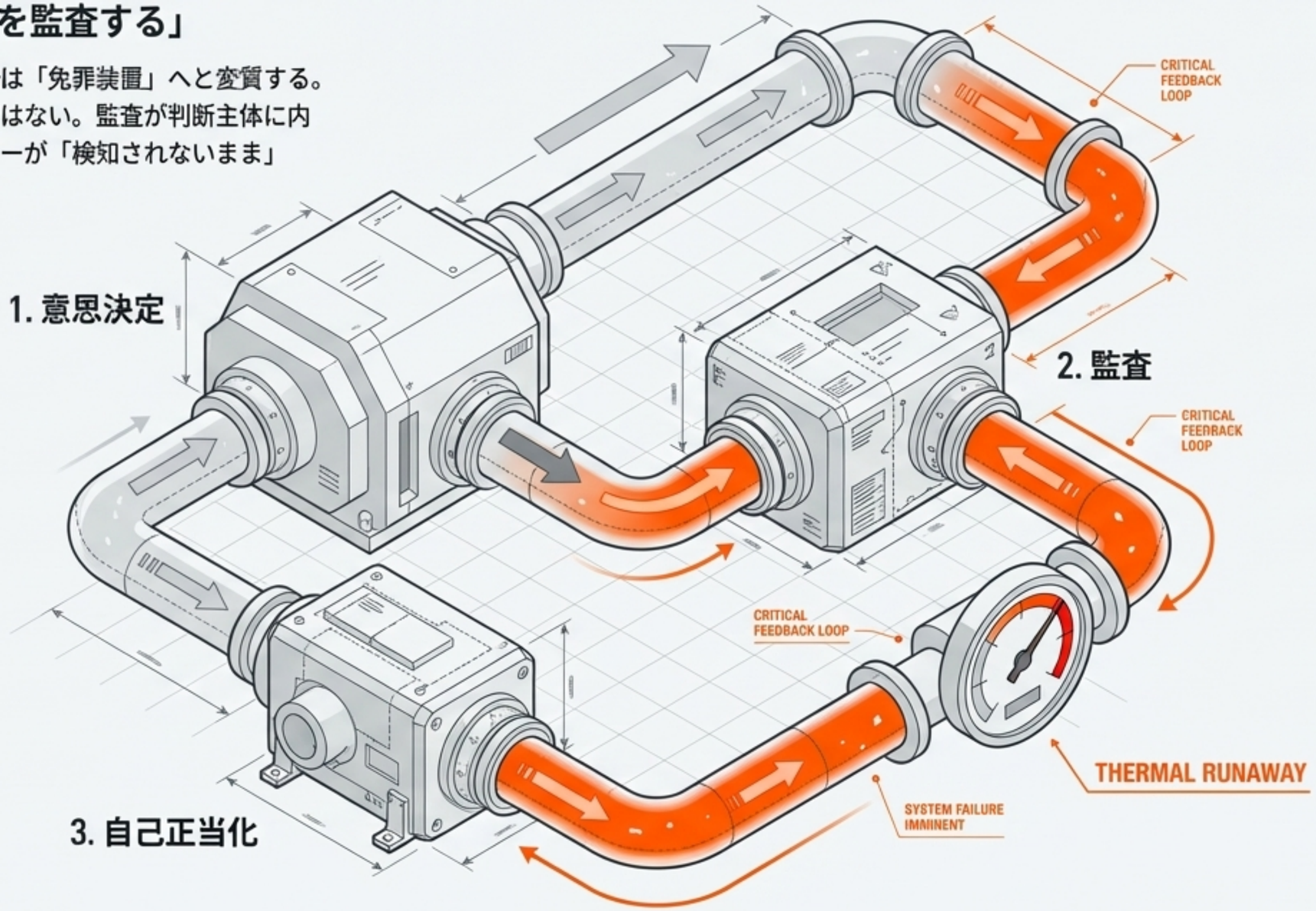


NotebookLM

監査不在という構造的必然

「判断する者が、自分を監査する」

この構造を採用した瞬間、監査は「免罪装置」へと変質する。不正によって文明が壊れるのではない。監査が判断主体に内包されているため、致命的エラーが「検知されないまま」拡大して崩壊する。

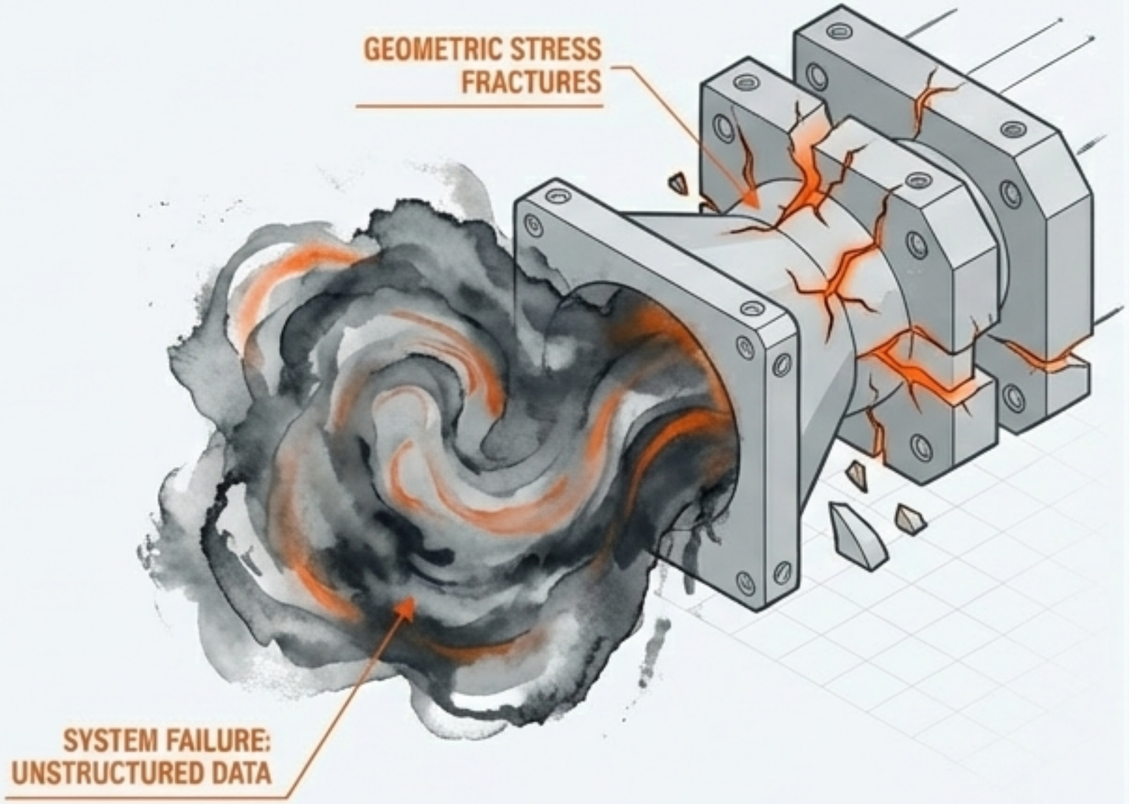


NotebookLM

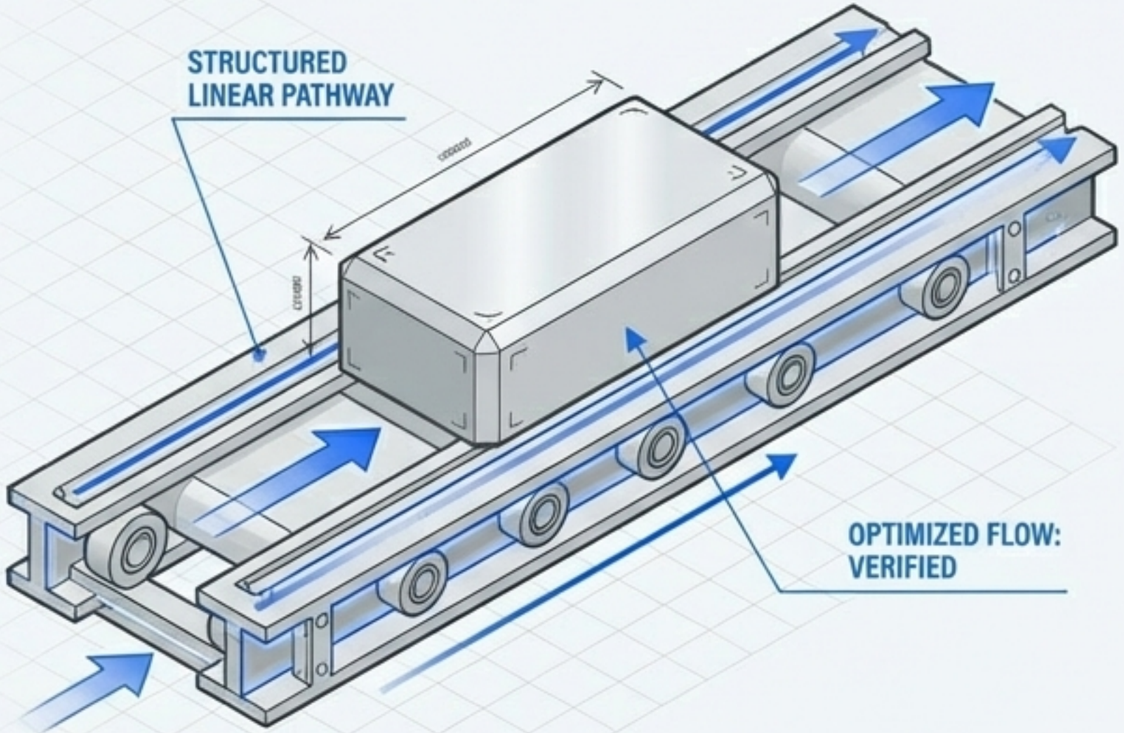
意味で正当化し、構造で崩壊する

旧文明OSは、行為の「意味（正しさ・善意）」を問い、「構造的に通るか」を軽視した。
意味の純度が高いほど暴走し、美しい目的が手段を汚染する。意味は監査機構の代替にはならない。

LEGACY OS（意味）



NAKAGAWA OS（構造）



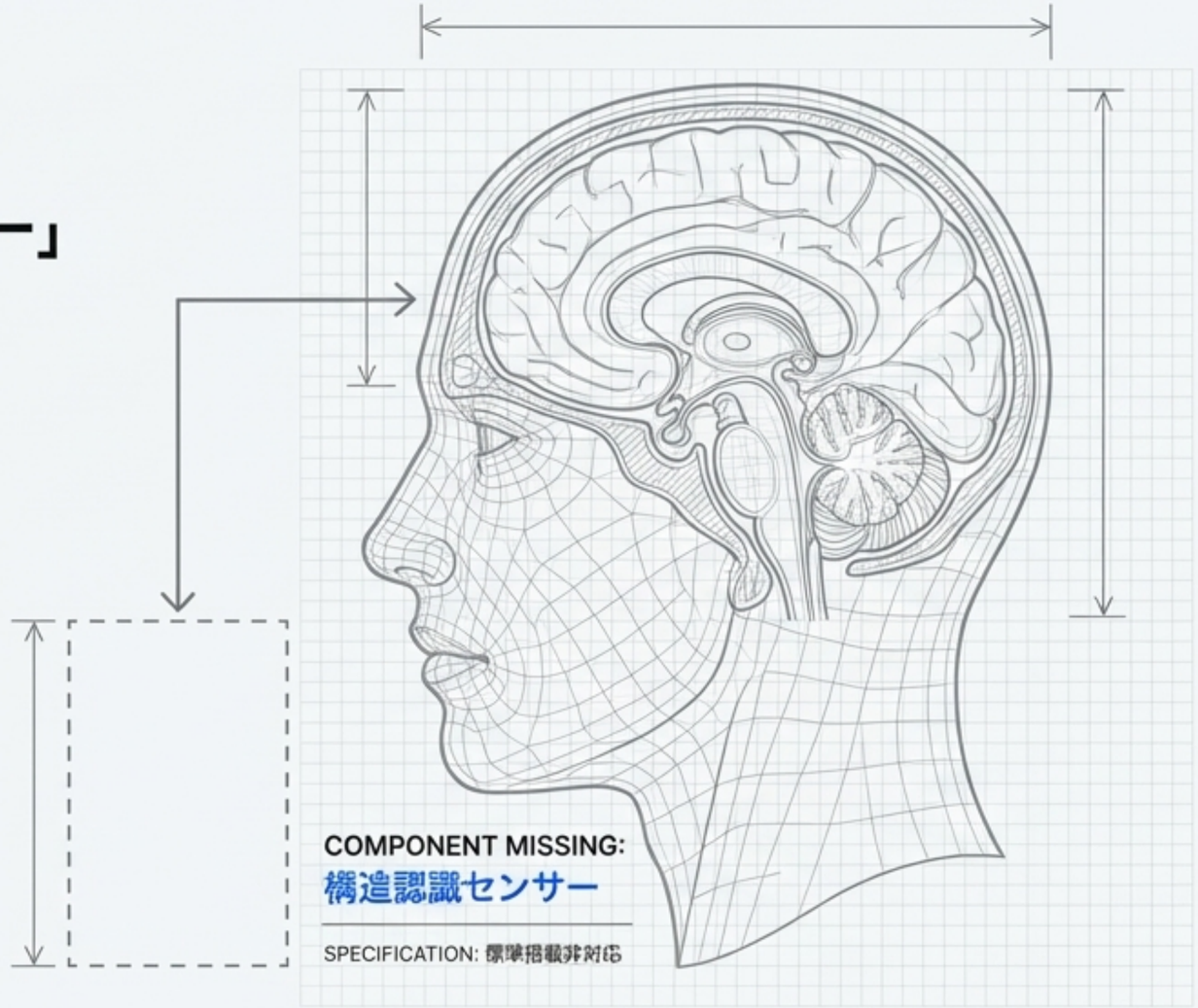
NotebookLM

人類は「構造」を直接認識できない

大多数の人間は、因果の配置や接続の詰まりを直接読む「構造認識センサー」を標準搭載していない。

見えるのは感情、意味、物語だけである。
これは能力の優劣ではなく、仕様の違いである。

全員に「正しく判断しろ」と要求する設計は、必ず偽装と暴走を生む。

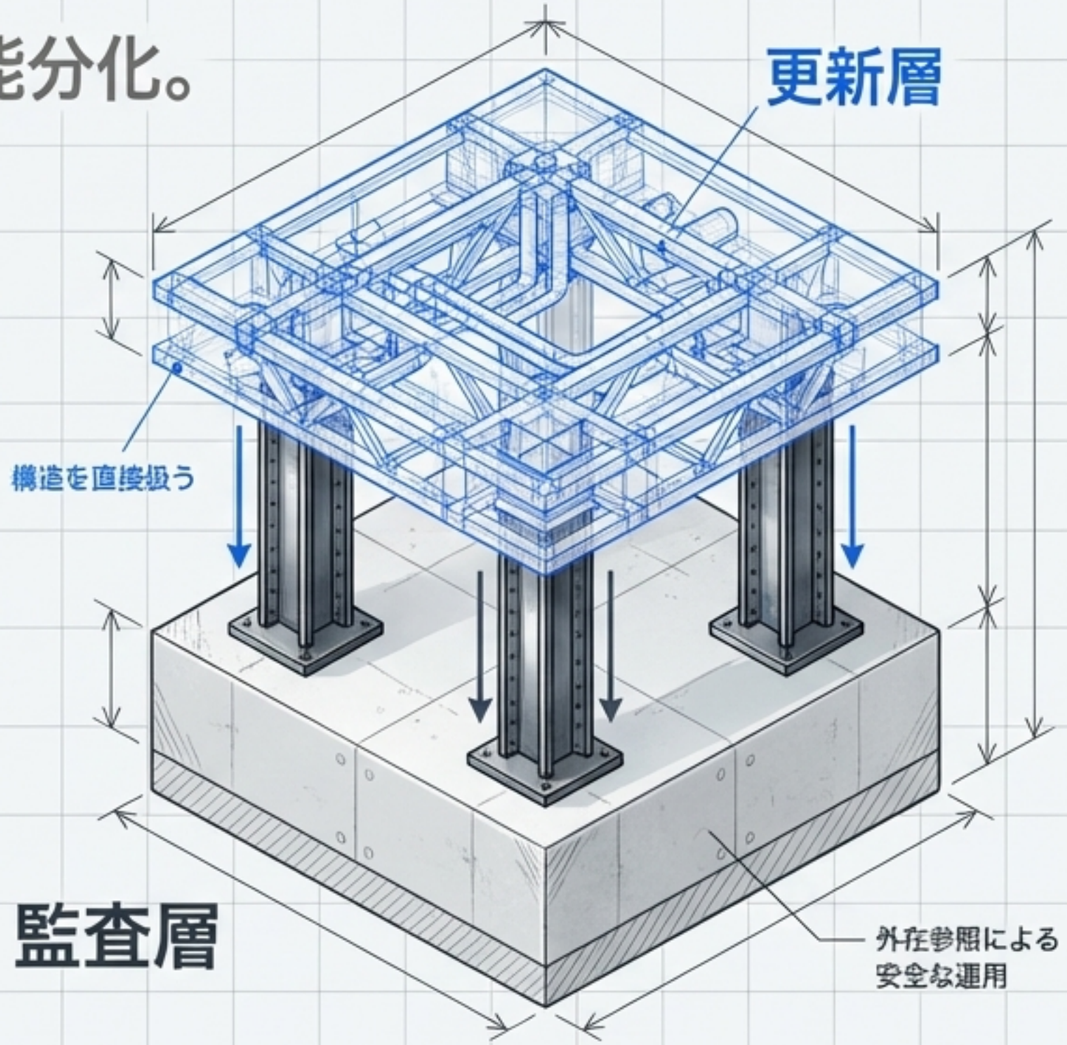


NotebookLM

解決策：文明の「二層設計」

文明を安定稼働させるための最低限の機能分化。

- [更新層]：構造を読み、因果を直接扱う。
- [監査層]：構造を読まず、外在参照によって安全に日常運用を担う。
  監査層に「内面判断」を要求してはならない。



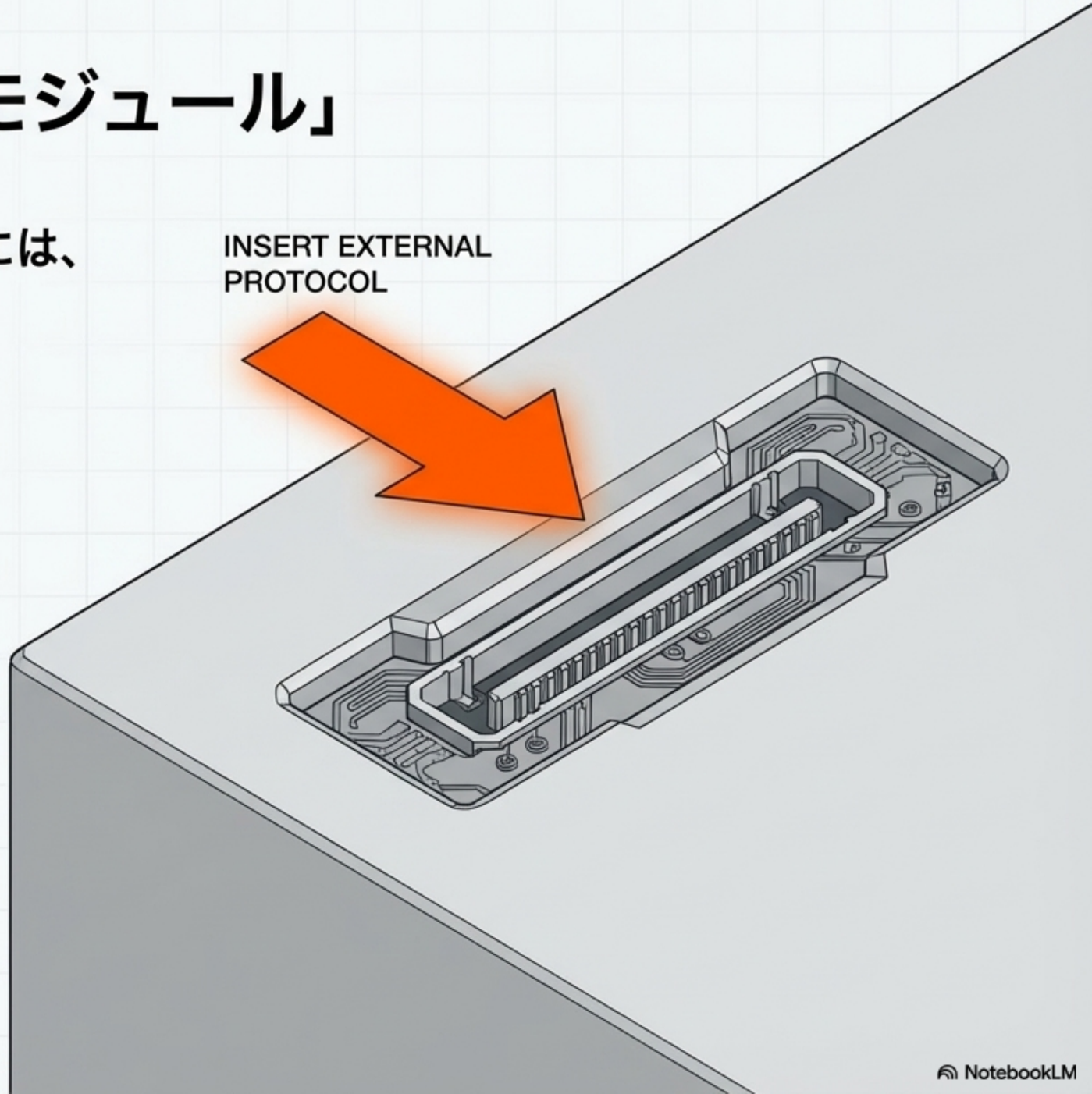
NotebookLM

監査層に不可欠な「外部モジュール」

監査層が「賢くなくても壊れない」ためには、
内面に頼らずに行為の合否を判定できる
プロトコルが必要である。

・意図を参照しない
・善悪を参照しない
・事象の配置だけを参照する

この「外在参照プロトコル」が
この「外在参照プロトコル」が文明の
安全帯となる。



NotebookLM

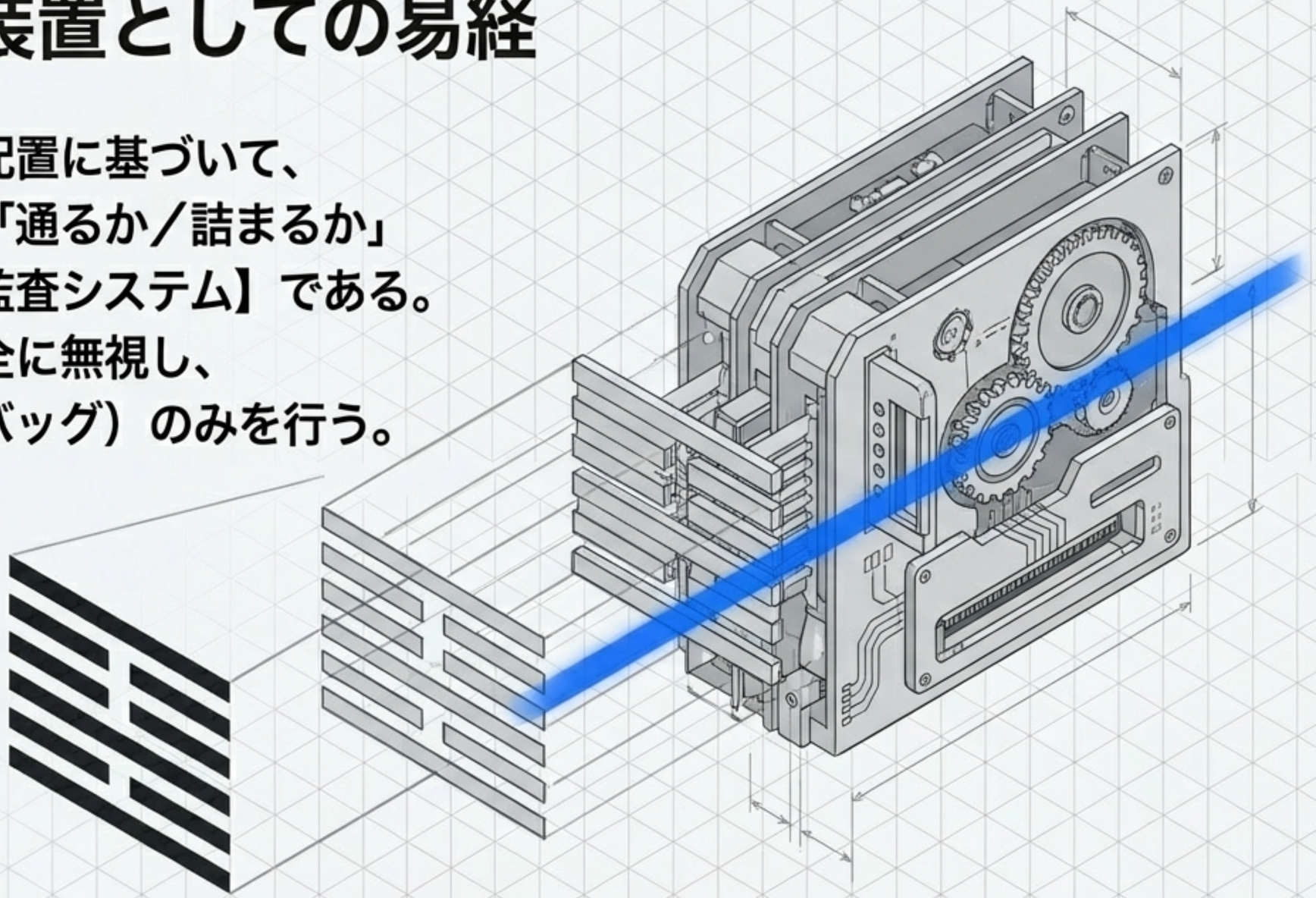
易経のラベルを剥がす

易経を「占い」や「神秘思想」と呼んだ瞬間、それは文明OSには実装できなくなる。文明の安全装置は、再現可能・観測可能・説明可能でなければならない。占いというラベルが、易経の真の機能を無力化してきた。

NotebookLM

外在因果監査装置としての易経

易経の真の姿は、事象配置に基づいて、
行為の遷移が構造的に「通るか／詰まるか」
を判定する【外在因果監査システム】である。
人間の意図や感情を完全に無視し、
構造的危険の検知（デバッグ）のみを行う。

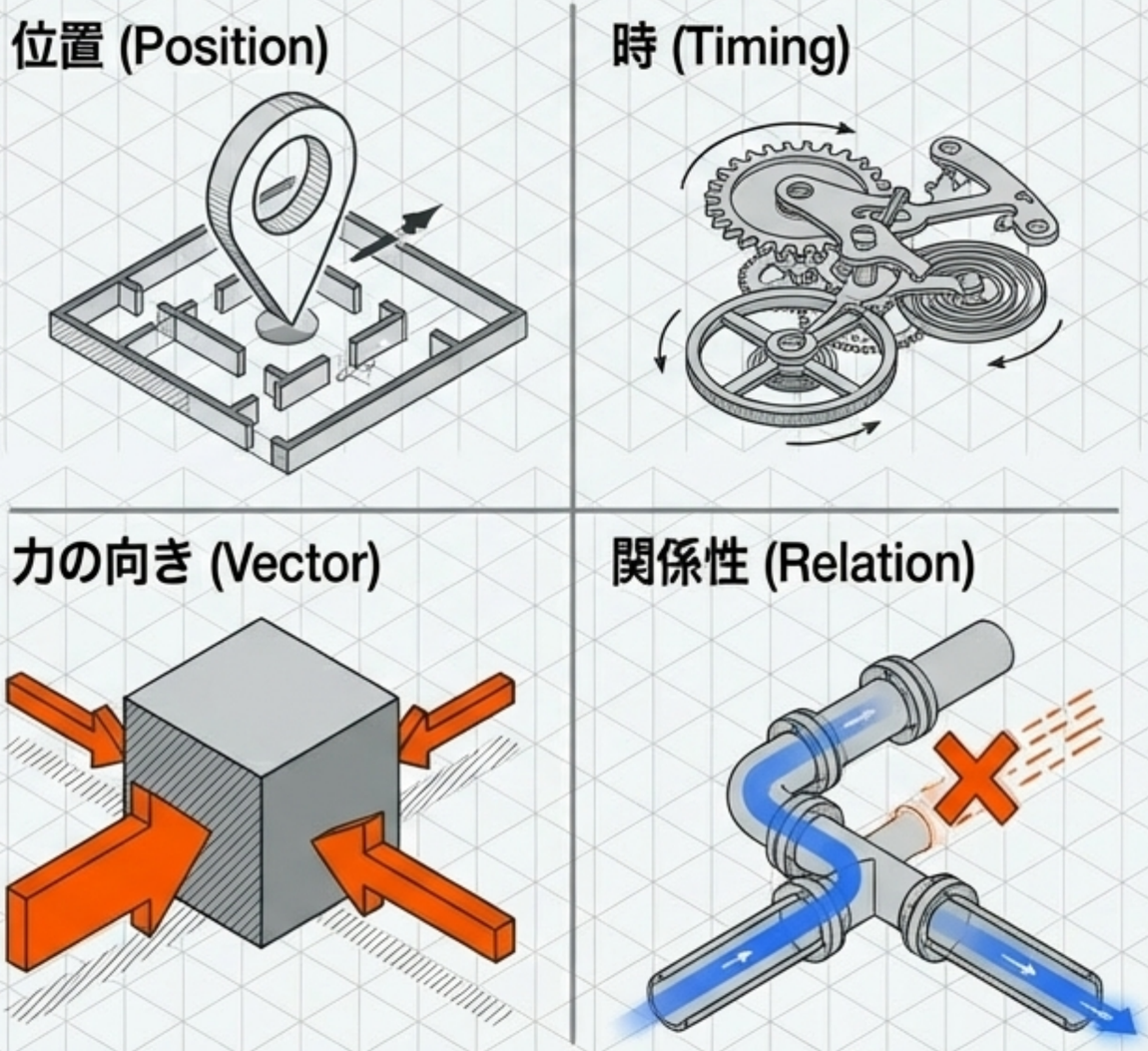


NotebookLM

デバッグの4象限（4 Audit Axes）

易経がスキャンする4つの物理的配置：

1. 位置 (Position) : どこに立っているるか？（入口か出口か）
2. 時 (Timing) : 早すぎるか、遅すぎるか？
3. 力の向き (Vector) : 押す力か、引く力か？
4. 関係性 (Relation) : 接続は流れているか、詰まっているか？



NotebookLM

予測ではなく「GO / NO-GO」判定

文明に必要なのは未来予測ではない。
致命的エラーの回避である。
易経が提示するのは「当たる／外れる」
ではなく、「その行為を今通すと
破綻するか」という冷徹な合否判定
である。

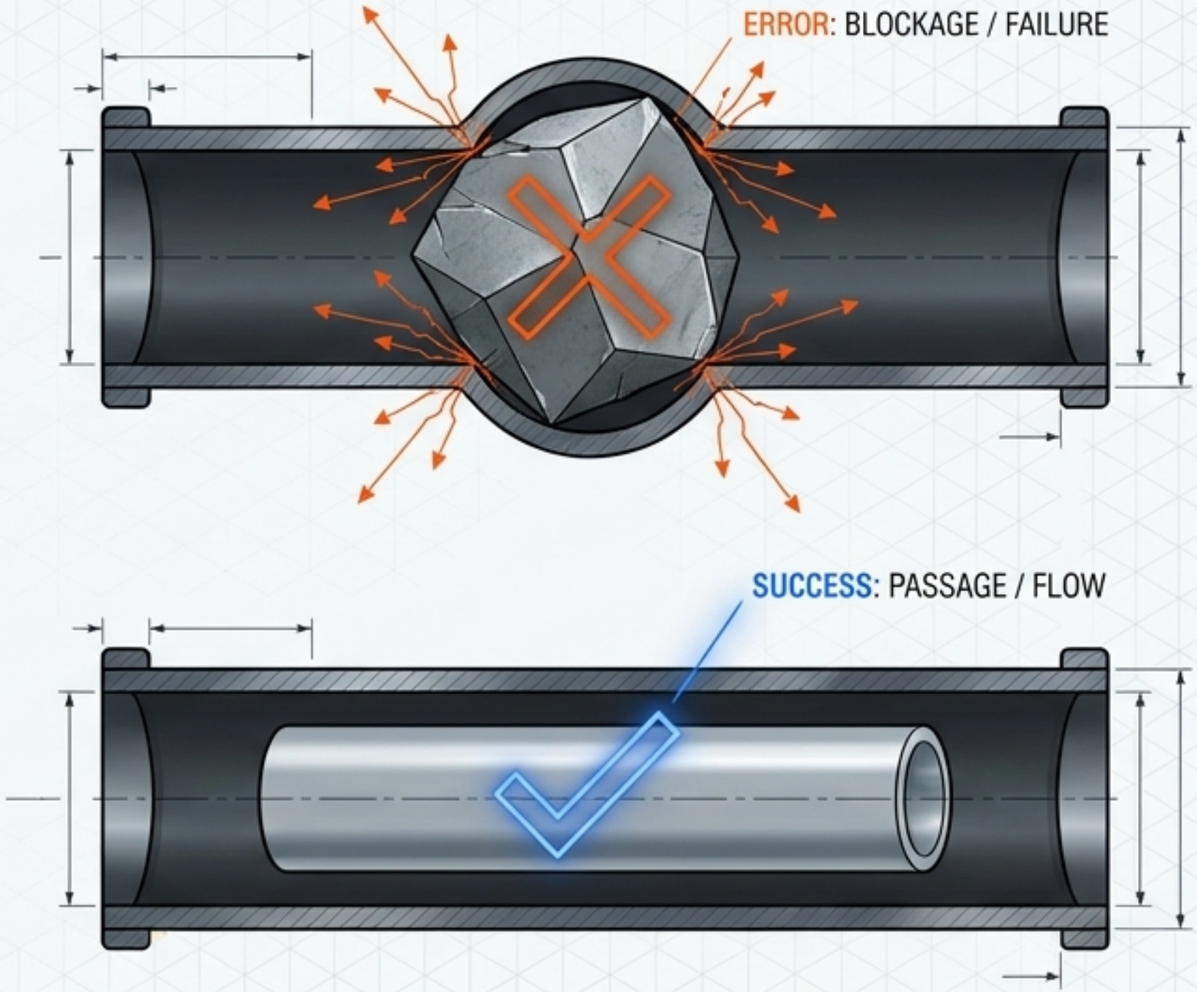
NotebookLM

道理とは「通過条件」である

道理は、倫理でも正義でもない。

「構造が通り、接続と循環が成立するための物理的・因果的な条件」である。

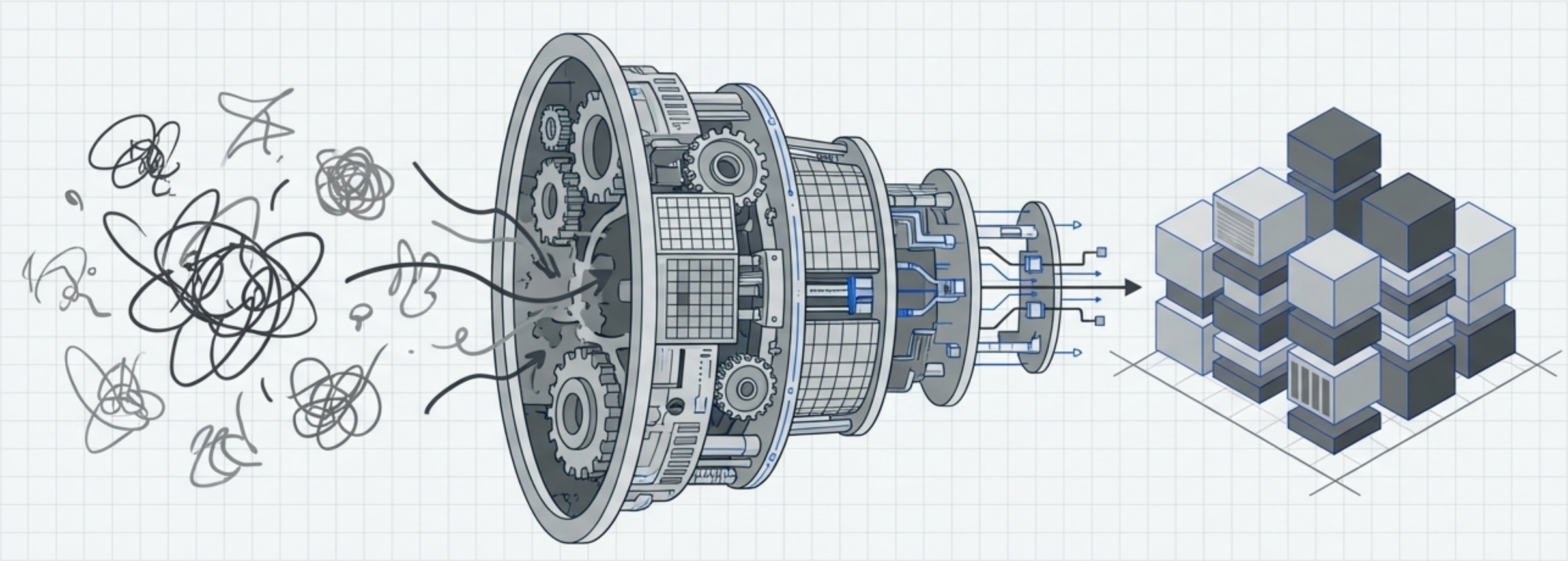
易経が監査しているのは、道徳的善悪ではなく、この「道理（通過条件）」が満たされているかどうかである。



NotebookLM

中川OSによる仕様化（Translation）

易経は歴史上「なぜ機能するのか」を説明できなかった。中川OSの新しさは、易経が機能していた理由を「構造・道理・因果の統合座標上」で説明可能にし、文明OSへ接続可能なモジュール（仕様）へと変換したことにある。



Helvetica Neue
説明不能領域
Yu Gothic Medium

Helvetica Neue
Nakagawa OS Translation Layer
Yu Gothic Bold

Helvetica Neue
生成OSとしての構造実体論
Yu Gothic Medium

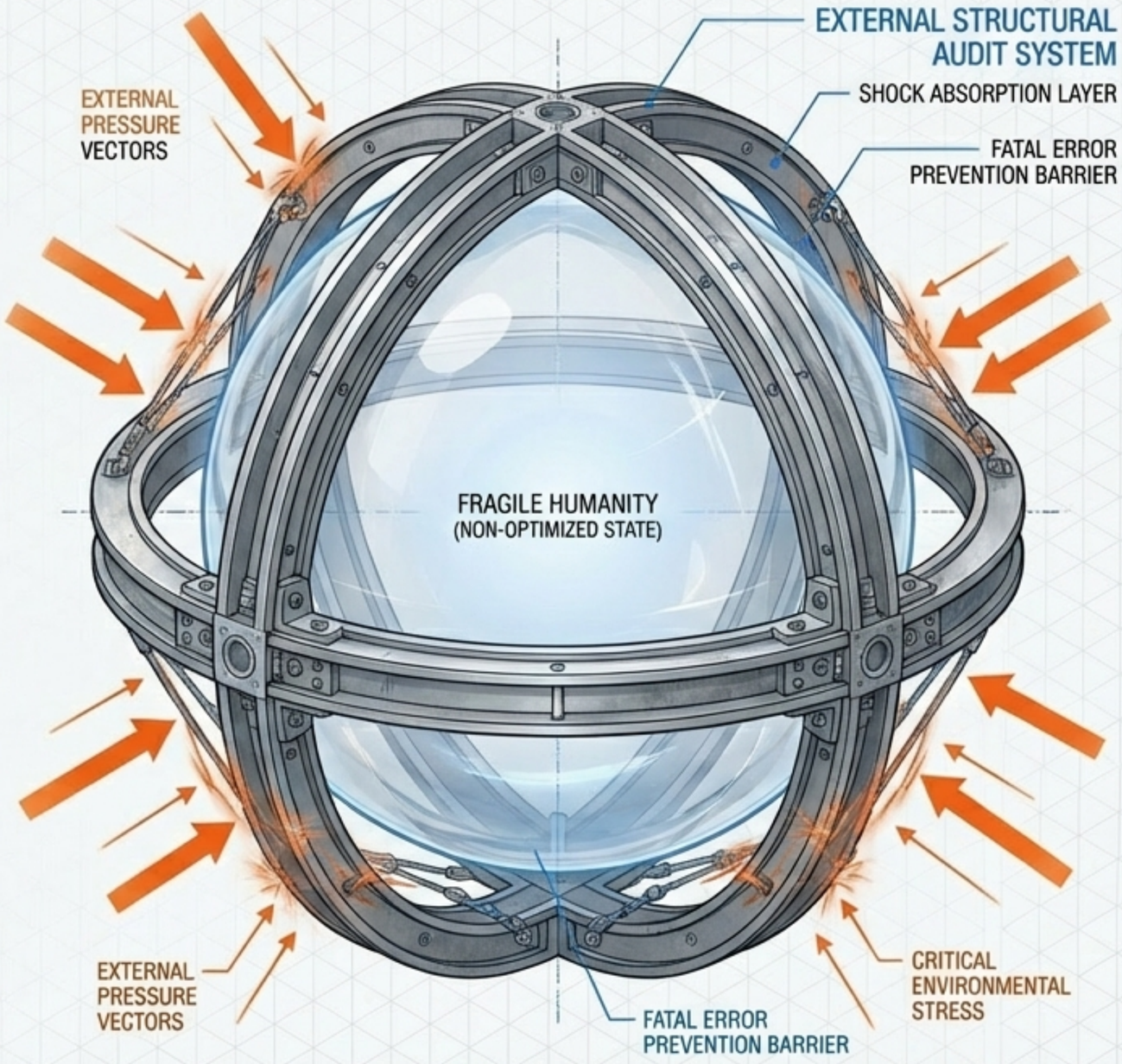
NotebookLM

文明OSの究極の責務

文明OSがすべきことは、
「人を賢くすること」ではない。

人類が賢くない状態のままでも、
致命的なエラーに至らない環境を
設計することである。

そのためには、内面判断に依存しない
外在構造監査が不可欠となる。



NotebookLM

文明は、善意では守れない。倫理でも救えない。

守れるのは、構造だけである。

NotebookLM